

2 まちづくりの基本課題

上京区には様々な課題が山積しているが、その課題の大部分は、京都市全体に共通する課題でもあり、京都市基本計画の中で基本的な対応方向が示されている。

したがって、この計画においては、上京区に特化した課題の解決に向けた道筋を示すことに主眼を置き、上京区の個性を活かしたまちづくりを行うという視点から整理すると、次の三つの事項が課題となっている。

(1) 歴史・伝統・文化を活かした上京らしいまちづくりに向けた課題

- 区内に立地する社寺やまちなみなどの歴史資源や、伝統文化、ものづくり技術、民俗行事など、有形無形の歴史文化を保全し、次世代に継承していく必要がある。
- そうした個性ある資源を、区民の日常生活や地域産業、観光などに積極的に活かしていくことによって、生きた形で維持継承していく必要がある。
- さらに、歴史や伝統を踏まえつつ、21世紀の新しい上京文化を生み出していくという創造的な姿勢を持ちながら、上京らしいまちづくりを進めていく必要がある。

(2) 西陣織をはじめとした都心産業の活性化に向けた課題

- 生産が減少しつつある西陣機業については、新たな市場の開拓や伝統技術と先端技術の融合等を通じて、地域の基盤的な産業として再活性化を図っていく必要がある。
- さらに、「西陣」のブランドを活かした新たな産業創出など、地域産業の裾野を広げていく必要がある。
- また、高齢社会における住民ニーズに的確に対応する、地域に密着した商業・サービス業の振興を図っていく必要がある。

(3) 安心して暮らせるコミュニティづくりに向けた課題

- 人口減少や高齢化の進む中、安全な住環境の整備や地域防災力の強化、福祉・保健・医療活動の活性化などを通じて、子どもから高齢者まで、安心して住み続けられる条件整備を行っていく必要がある。
- 明治以来上京区に根づいている元学区を核とした住民主体のコミュニティ活動をさらに発展、振興させていく必要がある。
- さらに、文化、産業をはじめ、地域に根ざした各種団体やコミュニティの活動など、21世紀上京区のまちづくりの新しい担い手となる人づくりを進めていく必要がある。